

1977年東大理Ⅰ文Ⅰ共通

$g(x) = x^3 - 3kx$ とすると $g'(x) = 3x^2 - 3k$

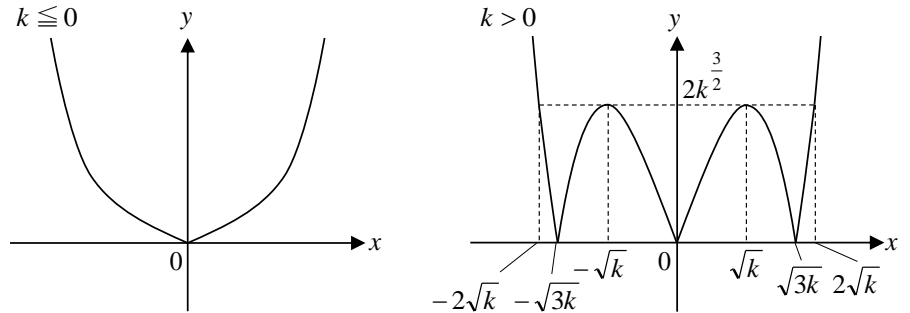
$k \leq 0$ のとき $g'(x) \geq 0$ であるから、 $g(x)$ は単調増加。

$k > 0$ のとき $g'(x) = 3(x + \sqrt{k})(x - \sqrt{k})$ 増減は右の通り。

$x = -\sqrt{k}$ のとき極大値 $2k^{\frac{3}{2}}$ 、 $x = \sqrt{k}$ のとき極小値 $-2k^{\frac{3}{2}}$ をとる。

x	...	$-\sqrt{k}$...	\sqrt{k}	...
$g'(x)$	+	0	-	0	+
$g(x)$	↗		↘		↗

$y = f(x) = |g(x)|$ のグラフは、
右図のようになる。



$k \leq 0$ のとき $M(k) = f(\pm 1) = |1 - 3k|$ $1 - 3k > 0$ であるから $\therefore M(k) = -3k + 1$

$1 \leq \sqrt{k}$ $1 \leq k$ のとき $M(k) = f(\pm 1) = |1 - 3k|$ $1 - 3k < 0$ であるから $\therefore M(k) = 3k - 1$

$\sqrt{k} < 1 \leq 2\sqrt{k}$ $\frac{1}{4} \leq k < 1$ のとき $M(k) = f(\pm\sqrt{k}) = 2k^{\frac{3}{2}}$

$2\sqrt{k} < 1$ $0 < k < \frac{1}{4}$ のとき $M(k) = f(\pm 1) = |1 - 3k|$ $1 - 3k > 0$ であるから $\therefore M(k) = -3k + 1$

以上まとめて

$k < \frac{1}{4}$ のとき $M(k) = -3k + 1$

$\frac{1}{4} \leq k < 1$ のとき $M(k) = 2k^{\frac{3}{2}}$

$1 \leq k$ のとき $M(k) = 3k - 1$

グラフより、 $k = \frac{1}{4}$ のとき、最小値 $\frac{1}{4}$ をとる。……(答)

